

経営比較分析表（令和4年度決算）

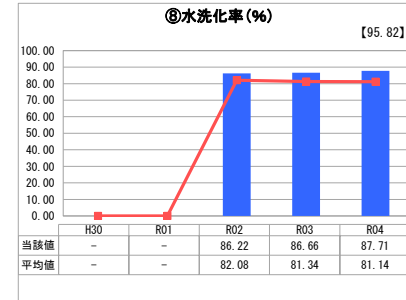
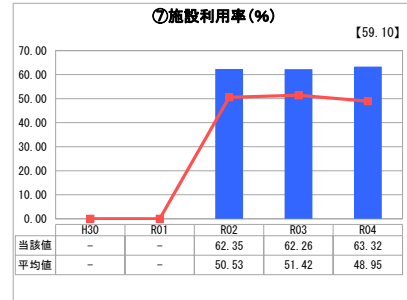
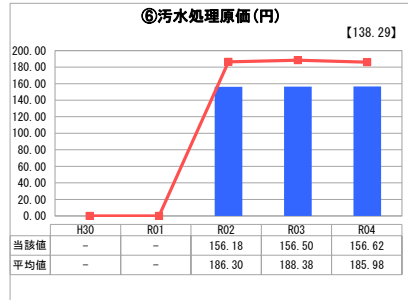
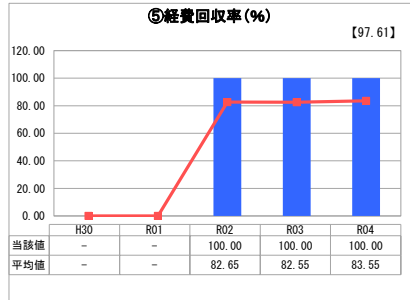
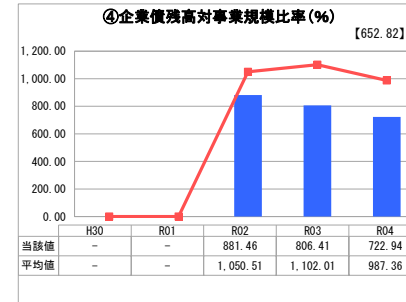
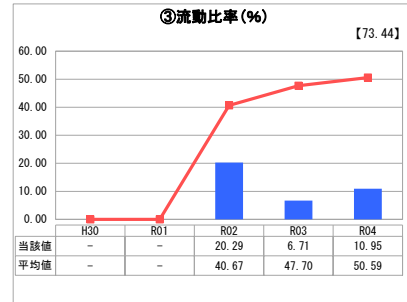
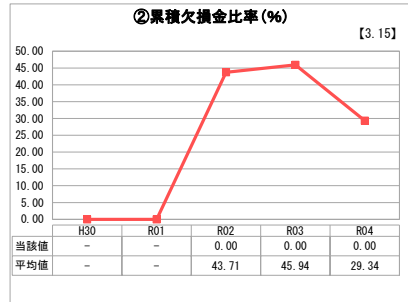
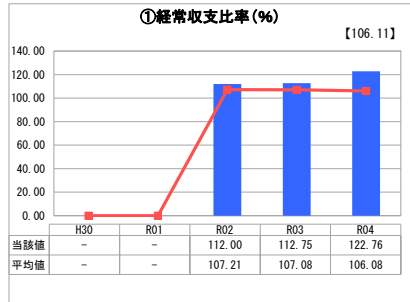
長崎県 佐々町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.83	92.93	94.01	3,190

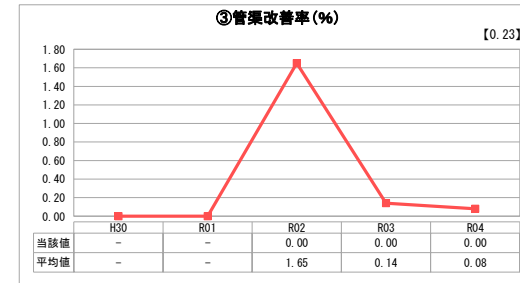
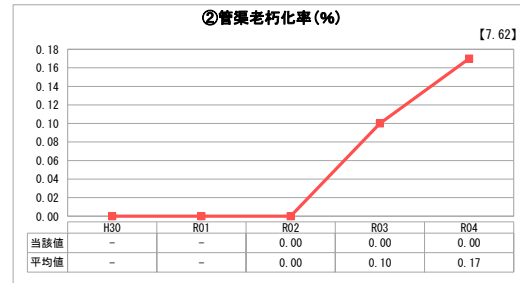
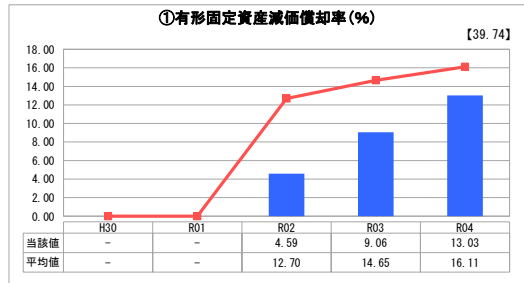
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,103	32.26	437.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,054	3.71	3,518.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え、累積欠損比率は、欠損を生じていないが、流動比率が100%を下回っており、平均値からも低く、短期的な債務に対して、流動資産にて賄えていない状況であることから、経費の削減および事業の効率化を実施し、下水道への加入促進を行い有収水量の増加を図る取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

平成9年の供用開始から25年超が経過している。有形固定資産減価償却率は平均を下回っているが、機械設備等に老朽化が見られる。この改築更新費用は多額であり、安定的な経営を行うためにも計画的な改築更新が必要となる。下水道施設に係るストックマネジメント計画を策定しており、老朽化した施設に対してはストックマネジメント計画に合致した計画的な更新を行っていく。

全体総括

下水道使用料収入のみでは経営が成り立たず、一般会計からの繰入金を要している。また、令和2年度からは企業会計へ移行し、資産の状況や適正な使用料を把握するよう努めている。また、安定した経営を行うためには使用料収入の増加は不可欠であり、下水道への加入促進といった取り組みが必要である。なお、老朽化する施設に対しても計画的な改築更新を行い、持続可能で安定的な経営を図る。

※令和2年度より地方公営企業法適用事業となったため、令和元年度以前のデータは該当数値のあるものであっても本分析表に記載されていない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。